

## 【エクアドル内政・外交：2013年4月】

### 1. 概要

- 15日～18日 コレア大統領ほかのドイツ、イタリア、バチカン、スペイン、ドミニカ(共)及びハイチ訪問
- 30日 新閣僚の任命

### 2. 内政

#### (1) 地方選挙日程の発表

28日、国家選挙審議会(CNE)は、県知事、市長、市議会議員、町議会議員の計5652名が選出される地方選挙の日程を発表した。

- ア 2013年10月17日：地方選挙公示
- イ 2013年10月18日：候補者登録開始
- ウ 2013年11月15日：候補者登録終了
- エ 2014年2月23日：投票日

#### (2) 新閣僚の任命

コレア大統領は、30日付大統領令により3名の閣僚の辞任を認め、新閣僚を任命したところ、辞任した閣僚及び新閣僚の氏名は以下のとおり。

- ア 辞任した閣僚
  - (ア) ジャネット・サンチェス 経済政策調整大臣
  - (イ) パトリシオ・リベラ 財務大臣
  - (ウ) ウイリアム・パストル 非再生可能天然資源大臣
- イ 新閣僚
  - (ア) パトリシオ・リベラ 経済政策調整大臣(前財務大臣)
  - (イ) ファウスト・エレラ 財務大臣(前財務副大臣)
  - (ウ) ペドロ・メリサルデ 非再生可能天然資源大臣

### 3. 外交

#### (1) 朝鮮半島情勢についての声明の発表

ア 2日、メディアへ向けた声明で、コレア大統領は、平壤とソウルに対し平和と平静を維持するよう呼びかけ、韓国との戦時状況に入ったとの北朝鮮の発表を拒絶した。

イ 同大統領は、エクアドルは対話による紛争解決、平和的解決を求め、どのようなものであれ暴力および戦争は否定すると述べた。また朝鮮半島情勢につき「重大であり、核戦争も誘発しかねない」として、韓国と戦時状況に入ったとの北朝鮮の発表は、我々全員が憂慮すべき事態であると述べた。

ウ 一方、同大統領は、事態が現状より悪化することは考えていないとし、エクアドルは朝鮮半島及び世界の非核化を支持していると述べた。

### (2)メルコスール正式加盟交渉の開始決定

ア 5日、コリア大統領は、メルコスール加盟交渉にかかる委員会を設置することを決定したと発表した。

イ コリア大統領は、「メルコスールの加盟は、EUとの通商協定交渉終了後になる。メルコスールの加盟交渉開始には、約10ヶ月を要することから、その頃にはEUとの貿易協定交渉が終了していることが望ましい」と述べた。

### (3)第7回ペトロカリベ+ALBA首脳会合

4-5日、カラカスにおいて第7回ペトロカリベ+ALBA首脳会合が開催され、エクアドルからは、グラス次期副大統領が出席した。

5日、加盟国間のエネルギー・貿易等分野における交流促進を図り、域内の生産チェーンを形成すべく特別経済圏(Zona Economica Especial)の創設を目指す、4月14日のベネズエラ大統領再選挙におけるニコラス・マドゥーロの勝利を祝福する、ペトロカリベ協定締結8周年を記念するペトロカリベ臨時首脳会合を本年6月29日にニカラグアの首都マナグアで開催する等の最終宣言が採択された。

### (4)エクアドル・コロンビア外相会合

12日、パティエーニョ外相は、当国を訪問したオルギン・コロンビア外相と会談し、昨年12月11日にトゥルカンで開催された両国首脳会合・第1回閣僚会合での決定事項に基づき、3ヶ月に一度の両国関係の進展状況を見直し、国境地帯の開発基金(Fondo de Desarrollo Fronterizo)を設けることに合意した。

### (5)コリア大統領の外遊

ア ドイツ訪問

(ア)15~18日にかけてドイツを公式訪問したコリア大統領は、16日、独商工会議所及び銀行協会等が参加した「第13回対ラテンアメリカの独経済」講演のメインスピーカーとして「エクアドル:安全な投資先, 社会変化, 政治」というテーマで講演した。

(イ)今回のドイツ訪問には、パティエーニョ外相、エスピノサ生雇用競争力調整大臣、エスピノサ知識人的能力調整大臣、ポベタ戦略部門調整大臣、タピア環境大臣、エスクデロ国家移民

庁長官、ファルコニ国家開発計画庁長官、ラミレス国家科学技術庁長官、リバデネイラ通商・統合担当外務副大臣他、財界関係者も同行した。

(ウ)17日、コレア大統領はメルケル独首相と二国間関係及びEUとの関係につき会談した。コレア大統領は、EUとの通商協定交渉再開に対する支援を求め、メルケル独首相は、それを了承しただけでなく、今後、両国の経済関係は発展するであろうと述べるとともに、インフラ事業にも参加する意思を示した。

#### イ イタリア及びバチカン訪問

##### (ア)フランシスコ新ローマ法王との会談

19日、バチカンを訪問したコレア大統領は、フランシスコ法王と会談し、教会と国家の「誠実に継続的な」対話により、基本的社会問題を解決していくことの重要性を確認するとともに、社会的公正・連帯の重要性、先住民文化の尊重、環境問題等が話し合われた。

なお、フランシスコ法王が南米の首脳と会談をするのは、フェルナンデス垂大統領、ルセフ伯大統領に続き、コレア大統領が3番目となる。その後、別室に移り、ファルコニ国家開発計画庁長官、アルバラド大統領府報道局長、ラトレ駐バチカン大使等12人からなるエクアドル一行をフランシスコ法王に紹介した。

##### (イ)エクアドル人コミュニティとの会談

同日、コレア大統領はミラノを訪問し、エクアドル人企業家やコミュニティと会合をもった。

#### ウ スペイン訪問

##### (ア)コレア大統領によるエクアドル人コミュニティとの会合

19日、マドリッドを訪問したコレア大統領は、エクアドル人コミュニティとの会合を実施し、大統領選挙での支援に感謝を示した。

また、パティーニョ外相は、スペイン経済危機の在スペインエクアドル人への影響に関し、2011年後半からエクアドル政府が支援を継続しており、エクアドルに戻ることを希望する移民者に対しても、好条件で帰国できるようなプログラムを用意している旨述べた。

##### (イ)スペイン企業団体との会合

19日、コレア大統領のスペイン訪問に同行したエスピノサ生雇用競争力調整大臣及びリバデネイラ外務副大臣は、スペイン企業団体と会合し、エクアドルの可能性及び当国への投資について話し合った。

#### エ ドミニカ共和国及びハイチ訪問

(ア)22日、ドミニカ共和国を訪問したコレア大統領は、サントドミンゴ自治大学での名誉博士号授与式に出席し、IMFの「処方」によりエクアドル経済は悪化したが、過去6年間IMFの代表の訪問を受け入れなかった結果、経済が改善したと述べた。

(イ)23日、ハイチを訪問したコレア大統領をマルテリー大統領が出迎え、両大統領は、エクアドル軍(ハイチ復興支援ミッション:Marche)がインフラ整備協力を実施しているアルティボニテを訪問した(エスピノサ国防相、パティーニョ外相同行)。コレア大統領は、今次訪問で、更に1,500万ドルの支援を行う旨決定した。

エクアドルは、2010年のハイチ地震発生以降、同国に対する復興支援を行っており、総額約4,500万ドルが支援されている。